

不審者対応訓練を実施

9月12日（水）、①校内での非常事態（不審者に対する）が発生した場合、落ち着いて適切に行動し、避難することができるようにする。②安全教育を通して、生命の尊さを学び、他人を思いやる心を育てる。という2つのことをねらいとして、不審者対応訓練を実施しました。

石川署の船道警部の迫真に迫る不審者役。6年生の学級に侵入し、知り合いの子どもに会いたいと先生に迫る不審者。先生が対応している間に子どもたちは隣の教室に逃げ、鍵をかけました。

その後5年担任から緊急連絡を受け多くの先生方が現場に向かいました。教頭先生が校内放送を入れ、亜希さんは警察への通報と、松田公民館への応援要請の連絡を入れました。駆けつけた石川警察署の方に不審者が取り押さえられ、不審者対応訓練を終えました。その後、全幼児・全児童が体育館に集合し、振り返りを行いました。不審者への対応には「おかしもち」と「いかのおすし」をしっかりと覚えることと、それを実行できる訓練をしっかりとすることだと、日頃から大きな声を出すことも練習してくださいとお話ししていました。音読や合唱で大きな声を出すことも、不審者対応訓練につながるということですね。

石川署の方から、松田校の皆さんは体育館へ移動する際もおしゃべりも少なく、騒ぐ様子もなく、真剣に訓練に取り組み、対応が早かったと、お褒めの言葉を頂きました。不審者への対応を日頃から訓練することは「備えあれば憂いなし」ということです。



写真1・2 不審者対応訓練の集会の様子

不しん者対応訓練

3年 なかだ りな

今日、不しん者対応訓練がありました。三校時の始めのあいさつをして、百恵先生と国語の勉強のつづきをしているとちゅうで、「バンッ、バンッ、バンッ」という大きな音が六年生の教室の方から聞こえてきたので、まひろさんが

「なんか、へんな音が聞こえるよ。」

と言い、みあさんも「本当だ。音が聞こえてくる。」

と言ったので、耳をすますと、さらに「バン、バン、ドン、ドン。」という音が聞こえてきました。

「不しん者だ。」

と、みんながさわぎはじめたけど、先生は

「しずかにしないと、放送が聞こえないよ。」

と、みんなをおちつかせてくれました。すると、ろう下に風子先生が来て、先生とお話をしました。そのあと

「さあ、ならんで、体育かんに行くよ。」

と、言われたので、その指示にしたがって、静かに体育かんのにげこみました。ときどきして、いましたが、みんなと行動できました。

そのあと、けいさつの方から、不しん者を見かけたときは、その人のとくちょうをしっかりと覚えることが大切だと教えてもらいました。「おかしもち」と「いかのおすし」もふく習することができました。